

2018年1月1日～2020年12月31日の間に 当院脳卒中科において脳梗塞の治療を受けられた方及びご家族の方 へ

—「心房心筋症の予測因子についての研究」へのご協力のお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学	総合内科学3	教授	永瀬 聡
研究分担者	川崎医科大学	総合内科学3	特任教授	伊藤 浩
	川崎医科大学	脳卒中医学	准教授	井上 剛
	川崎医科大学	脳卒中医学	講師	植村 順一
	川崎医科大学	脳卒中医学	講師	山下 眞史

1. 研究の概要

脳梗塞にはその成因からいくつかのタイプに分けられますが、原因不明とされるものがあります。最近では心房心筋症という心房という心臓の一部が傷んだ病態が関係していると言われてきています。当院で治療された脳梗塞症例と心房心筋症の関連について検討します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2018年1月1日～2020年12月31日の間に川崎医科大学総合医療センター脳卒中科において脳梗塞の治療を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

2024年2月5日～2029年12月31日

3) 研究方法

2018年1月1日～2020年12月31日の間に当院において脳梗塞の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに血液検査、心電図、心エコー図検査などのデータを選び、心房心筋症に関する分析を行い、脳梗塞と心房心筋症の関連について調べます。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、家族歴、病歴、治療歴、心電図検査、心エコー図検査、血液検査結果 等

5) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学総合内科学3医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2029年6月30日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学総合医療センター 総合内科学3

氏名：永瀬 聡

電話：086-225-2111（平日：8時30分～17時00分）

E-mail：snagase@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究では川崎学園内の学内研究費を使用します。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。